

## 学校法人らくらく会計 D2 勘定科目の修正について

2016年3月25日

2016年7月27日・・・過年度修正額について訂正

シンシステムデザイン

電話084-946-5253

FAX084-946-5254

学校法人らくらく会計 D2 の勘定科目についていくつかの不備が見つかりましたので、下記の手順で修正をお願いします。この修正が必要であるかどうかは、会計データを新規に作成した時期により異なりますので、お手数をお掛けしますが下記の点をご確認ください。

リモートメンテナンスが出来る環境（インターネットが使えるパソコン）であればリモートでの修正も出来ますのでご連絡ください。ご迷惑をお掛けしまして誠に申し訳ございません。よろしく願いいたします。

### 【重要】

- ★ データのバックアップコピーを取ってから以下の操作をしてください。
- ★ バージョンアップしてから行ってください。最新更新日 2016-3-15 以降

### 1. 積立資産の場所について

特定資産の位置は、正しくは「特定資産」の中ですので、下記のように移動がしてください。

11200	特定資産	2	1	0				
11210	第2号基本金引当特定資産	0	1	0				
11220	第3号基本金引当特定資産	0	1	0				
11300	その他の固定資産	2	1	0				
11310	借地権	0	1	0				23
11320	電話加入権	0	1	0				23
11330	施設利用権	0	1	0				23
11335	ソフトウェア	0	1	0				23
11340	有価証券	0	1	0				
11350	出資金	0	1	0				
11360	収益事業元入金	0	1	0				
11370	長期貸付金	0	1	0				
11380	長期前払金	0	1	0			1	12
11500	退職給与引当特定預金	0	1	0				
11510	減価償却引当特定預金	0	1	0				
11520	施設設備引当特定預金	0	1	0				

### 【注意】

科目コードを変更するだけでは、既に仕訳を行った科目コードや資金収支の科目コードは、手を変えなければならなくなりますので、次の方法で変更してください。

## 【操作】

初期設定メニュー ⇒ 勘定科目設定 ⇒ 科目コードの付替え

下記の例では、科目コード 11500 の科目は、科目コード 11230 に変わると同時に、資金収支の科目や既に入力済みの仕訳伝票の科目コードも自動的に変わります。同様な方法で他の引当金特定預金も移動してください。資金収支の連番は変わりませんので、空白にしてください。

科目コードの変更

項目移動はTabキー

	変更前	⇒	変更後
勘定科目のコード	11500	⇒	11230
収入の資金科目の連番		⇒	
支出の資金科目の連番		⇒	

ここをダブルクリックして、必ず説明書を読んでください。

実行

閉じる(C)

## 2. 施設設備利用料の場所について

正しくは「教育活動収支の部」の「雑収入」の中です。

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)			
科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	FlgD
51800	雑収入	3	2	1	
51810	施設設備利用料	0	2	1	
51820	退職金社団交付金収入	0	2	1	
51830	廃品売却収入	0	2	1	
51840	入学案内配布収入	0	2	1	

正しい位置

新規にデータフォルダを作成する時期により、正しい位置にある場合もありますが、もし、下記の例のように“教育活動外”ある場合は、上記の方法で移動させてください。

60000	教育活動外収支	10	2	1	
61000	事業活動収入の部	9	2	1	
61010	受取利息・配当金	3	2	1	
61020	第3号基本金引当特定資産運用収入	0	2	1	
61030	その他の受取利息・配当金	0	2	1	
61040	施設設備利用料	0	2	1	

## 【操作】

上記と同様に科目コードの付替えを行ってください。資金収支の位置は変わりませんので、資金科目の連番は空白にして実行してください。

3. 特別収支の部について

P/L 科目の“施設設備補助金”に対応する資金収支の科目がありませんでしたので、次のように追加してください。

資金収支科目の“補助金収入”の中に、“施設整備補助金収入”の科目を挿入してください。

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)						
連番	科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	FlgG	FlgH
2100		補助金収入	3	2	1			
2200	51410	国庫補助金収入	0	2	1			
2300	51420	都道府県補助金収入	0	2	1			
2400	51430	市町村補助金収入	0	2	1			
2500	51440	施設型給付費収入	0	2	1			
2600	71130	施設設備補助金収入	0	2	1			

4. P/L 科目の“施設設備寄付金”に対応する資金収支の科目がありませんでしたので、次のように特別寄付金収入の小科目として追加してください。

①現在ある“特別寄付金収入”の上に“特別寄付金収入”を挿入して親科目としてください。(連番は必要ですが科目コードは不要です。)

②現在の“特別寄付金収入”には小科目に「1」を入れて子科目としてください。

③新たに“施設整備寄付金収入”科目を子科目として追加してください。

1600		寄付金収入	3	2	1			
1700		特別寄付金収入	1	2	1			
1800	51310	特別寄付金収入	0	2	1			1
1900	71110	施設設備寄付金収入	0	2	1			1

5. 過年度修正額に対応する科目が資金収支科目に無い場合は、資金収支科目の次の場所に挿入してください。

“雑収入”の中に、“過年度修正収入”、

“経費”または“管理費”の中に“過年度修正支出”の科目を入れてください。

6. 有価証券科目の FlgH に 24 入れる。

11200	その他の固定資産	2	1	0				
11210	借地権	0	1	0				23
11220	電話加入権	0	1	0				23
11230	施設利用権	0	1	0				23
11240	ソフトウェア	0	1	0				23
11250	有価証券	0	1	0				24

資金収支の次の科目を削除

“その他の収入”の中に“11250 有価証券収入”という科目があれば、削除してください。

もし、この科目に予算がある場合は、この予算を FlgH=24 の“有価証券売却収入”に移動してください。

7. その他の教育活動外収入の中に“収益事業原価”の科目があれば削除してください。

8. 事業活動収支の(予備費)と資金収支の(予備費)支出の科目コードが違っていたので、資金収支の(予備費)支出の科目コードを事業活動収支の(予備費)の科目コードに揃えてください。

9. 資金収支の“資産売却収入”が次のような科目になっていましたら、下記のように変更してください。  
 「その他の資産売却収入」に予算をすでに入力している場合は予算も入れなおしてください。

修正前

2700		資産売却収入	3	2	1		
2800	71020	施設売却収入	0	2	1		22
2900	71020	設備売却収入	0	2	1		22
3000	71030	有価証券売却収入	0	2	1		24
3100	71040	その他の資産売却収入	0	2	1		23

修正後 その他の資産売却収入は予算を0円にしてから削除してください。

2700		資産売却収入	3	2	1		
2800	71020	施設売却収入	0	2	1		22
2900	71040	設備売却収入	0	2	1		23
3000	71030	有価証券売却収入	0	2	1		24

その他の資産売却収入は削除してください。